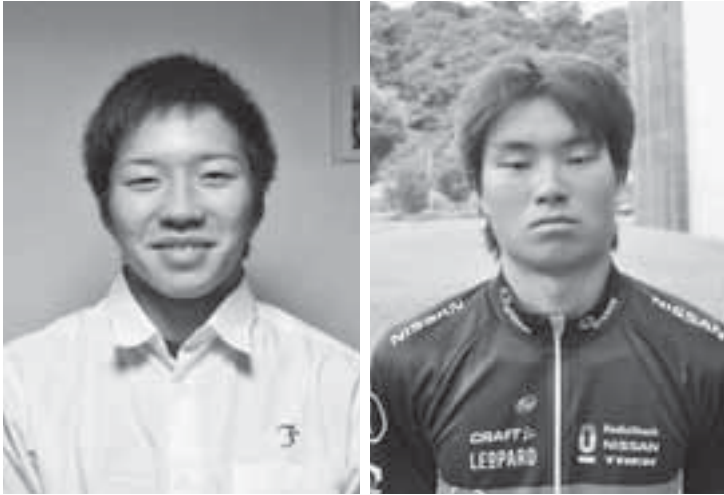




▼今年度のインターハイに出場する田上大貴選手（右）と大友彰選手（左）



インターハイ出場が決定

本町出身の高校生2人が健闘

7月28日（土）から8月20日（月）まで、新潟県を主会場に開催される平成24年度全国高等学校総合体育大会に、本町出身の2選手の出場が決定しました。田上大貴選手（下横田区・千原台高3年）は、自転車競技のポイント・レースに2年連続出場。「積極的に前に出てレースを引っ張ることが得意です。練習を積み重ねただけ、本番で良い結果を残すことができ、やりがいがあります」とコメント。「3年生なので、今年が最後の年。優勝を目指して頑張りたいです」と大会への抱負を述べました。

大友彰選手（津志田区・学園大付属高3年）は、福井県で行われる体操競技（団体戦）に3年連続出場。「1つ1つの技を丁寧に言い、『きれいな体操』を心掛けています。練習を積み重ねることで、難度の高い技に挑戦できるようにすることが楽しいです」と話しました。また、大会への抱負を「6種目ノミミスで、完璧な演技を目指すこと」と述べました。

相手の気持ちを考えよう

甲佐小でいじめについて考える人権集会

7月11日（水）甲佐小学校（本田尚一校長185人）で、人権集会が開催されました。

人権擁護委員熊本協議会上益城部会が主催。児童は、人権啓発ビデオや人権擁護委員の講話を通して、相手の気持ちを考えることの大切さを学びました。また、法務省の人権イメージキャラクター「人KENまもる君」と「人KENあゆみちゃん」が来場し、児童と交流していました。



▲人権イメージキャラクターと交流する甲佐小児童



▲商品の販売戦略などについての講演会を開催

産業の今後について研修

産業関係者を対象に産業後継者育成研修会

7月9日（月）町生涯学習センターで、甲佐町産業後継者育成対策協議会（本田新会長）の研修会が開催されました。同会は、甲佐町認定農業者同志会（本田新会長）との合同開催。町内の商工や農業関係者など67人が出席し、第1部では、県の中小企業支援制度や補助事業、本町の農業の現状などについて研修。第2部では、イオン九州（株）産地開発部の立石弘司部長を講師に迎え、「売れている商品に学ぶ」と題して講演が行われました。立石部長は講演の中で、商品の販売戦略について「買い手のニーズに合わせて、商品の量や質を変えて提供することが重要」と話しました。

住みよいまちづくりを

下横田区町政座談会を開催

6月30日（土）下横田公民館で、下横田区町政座談会を開催しました。

町政座談会は、住民参加型の豊かで住みよいまちづくりの推進を目的として、行政に関する情報を積極的に公開し、信頼できる町政を実現するために開催しています。

奥名克美町長など町関係者と、集まった下横田区民約20人は、町政に対する活発な意見を交わしました。



▲町関係者と町政に対する意見を交わす下横田区民

未来を担う児童にエール

平成24年度白旗小学校PTA親子講演会



▲現在も第1線で活躍する大村さんによるエアロビックスの演技が披露された後、「1型糖尿病とともに夢に向かって」と題して行われた講演会



▲インターネットなどの危険性について講演

青少年の健全な育成を

甲佐町青少年健全育成町民会議総会

6月30日（土）町生涯学習センターで、甲佐町青少年健全育成町民会議の平成24年度総会と講演会が開催されました。

同会議（奥名克美会長）は、本町の未来を担う青少年の健全育成を目的に、昭和60年に発足。指導部会、育成部会、啓発環境部会の3部会で構成され、青少年健全育成活動に取り組んでいます。

講演会は、県警察本部サイバー犯罪対策室の久保惣一郎室長を講師に迎え、インターネットなどの危険性についての講演が行われました。久保室長は「ネットで情報などが出回ると、回収は困難。便利さの裏にある危険性にも注意して」と話しました。

7月1日（日）白旗小学校で、平成24年度白旗小学校PTA親子講演会が開催されました。

エアロビックス元日本チャンピオンの大村詠一さん（大津町）を講師に迎え、「1型糖尿病とともに夢に向かって」と題して講演。1型糖尿病とは、本来、異物を排除するはずの免疫系が、正常な細胞であるすい臓のベータ細胞を破壊し、インスリンが分泌されなくなる病気。生活習慣病の影響による2型糖尿病とは、発症要因が根本的に異なります。

大村さんは、「医者からはエアロビックスを続けることは無理だと言われてきましたが、あきらめなければ、夢はかかります。皆さんも、目標を持ってがんばってください」と参加者約180人にエールを送りました。

6年生の荒木光君（芝原区）は、「演題を聞いたとき、どうして病気と『ともに』なのか、不思議でした。でも講演を聞くと、まるで病気と友達みたいに付き合っていて、演題の意味が分かりました。大村さんはすごい人だと思いました」と感想を述べました。